

HIV 一般診療において HIV 感染症を疑うコツ



厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策研究事業
「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」班
国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター



はじめに

- 我が国における HIV 感染症患者数は先進国の中で唯一増加をみており今や、非常に一般的な感染症のひとつとなっております。また全世界において HIV 感染症による死亡者数は、2005 年は 190 万人だったのが 2016 年には 100 万人と半数近く減少しており、適切に HIV 治療を受けることの重要性が示されています。そのためには早期に HIV 感染を発見することが重要と考えられます。
- しかし HIV 感染症は長い無症候期があり、この時期には検査をしない限り HIV 感染症の診断は不可能です。感染後、医療機関を受診しているにも関わらず、HIV 感染は見落とされ、診断がついた時に極めて重篤な状況まで HIV 感染症が進行していることも最近多くみられるようになりました。進歩した抗 HIV 療法によっても救命は困難な場合があります。
- そこでこのパンフレットでは日常の一般診療の中で HIV 感染症を疑うコツをお示しました。パンフレットをご活用頂き HIV 感染症の早期発見にお役立て頂けたら幸いです。



HIV とエイズの違い



HIVとは **H**uman **I**mmunodeficiency **V**irus
ヒト 免疫不全 ウイルス

- ・ 私たちの体には、病原体から身体を守る「免疫」というシステムが備わっています。
- ・ HIVに感染すると、「免疫」のシステムが次第に失われ、健康な人では普通病気にならない弱い病原体でもさまざまな症状が出現するようになります。これがエイズを発症した状態です。

AIDSとは **A**cquired **I**mmune **D**eficiency **S**yndrome
後天性 免疫不全 症候群

HIV≠エイズ



これを見たら HIV 感染を疑おう

口腔内病変

【口腔内カンジダ症】

- HIV 感染による免疫の低下がある患者に最もよく見られる所見です。
- 時に非感染者の高齢者でも見られますが、既往がなく若年患者ではまれですので、HIV 感染を疑います。



皮疹

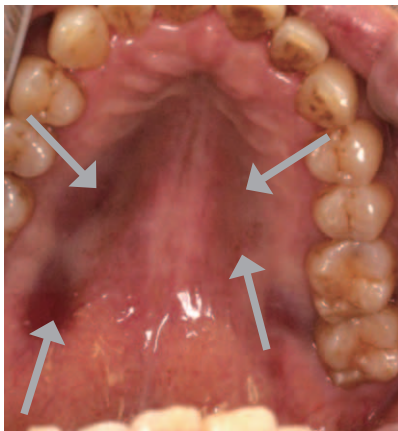
【急性期皮疹（HIV 感染初期）】

- 麻疹様の皮疹を認めることがあります。



【カポジ肉腫】

- 全身の皮膚及び粘膜に見られる暗紫色の隆起性病変です。



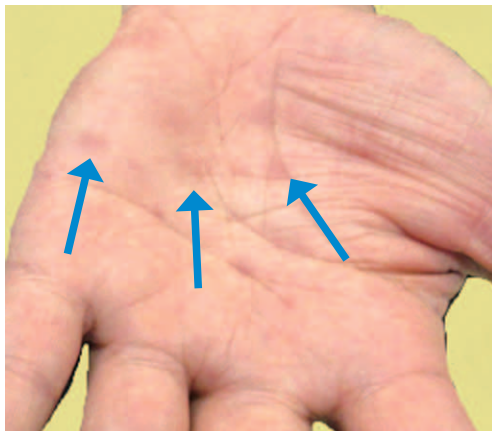
【帯状疱疹】

- HIV 感染による免疫の低下がある場合は、繰り返すのが特徴です。



【梅毒疹】

- 四肢や体幹部等に掻痒感を伴う紅色皮疹が出現します。



【好酸球性膿疱性毛包炎】

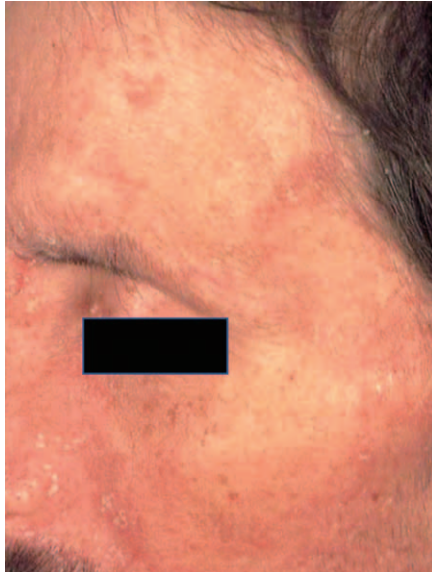
- 四肢や体幹、顔面等に掻痒感を伴う毛孔一致性の紅色丘疹が出現します。



(参照：カラーアトラス AIDS)

【脂漏性皮膚炎】

- 被髪頭部および顔面に中等度から重度の落屑や紅斑が生じます。



(参照：カラーアトラス AIDS)

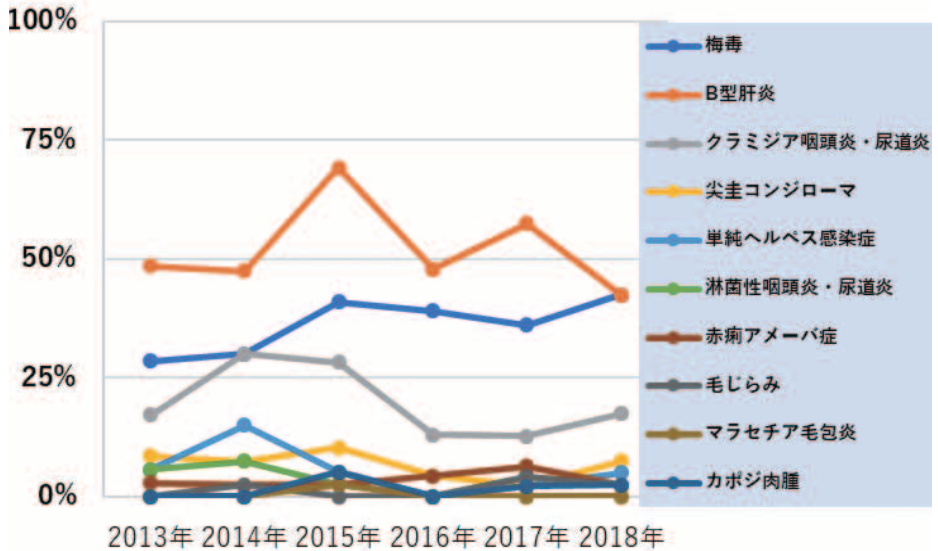
その他

- 肺炎（頻回に繰り返す場合は注意が必要です）
- 結核（HIV 感染者では罹患率が上昇します）
- 原因不明の発熱（インフルエンザ様の症状がみられますが鼻汁は認めません）
- 慢性咳嗽（ニューモシスチス肺炎の可能性がありますが）
- 原因不明の体重減少
- 一か所以上のリンパ節の腫脹
- 繰り返す性感染症



HIV 感染を疑うデータ

《当院免疫感染症科初診患者の性感染症合併の割合（既往含む）》



当科初診の HIV 感染患者のうち約半数が梅毒・B 型肝炎にも罹患していました。

上記の性感染症を発見した時は HIV 検査を強く勧める必要があると考えます。

さらに近年 HIV 感染者における **A 型肝炎** のアウトブレイクが報告されており、HIV 感染を疑う要素の一つとなります。



よくある質問

1. HIV 検査について

Q HIV 検査は保険適用ですか？

A HIV 感染症を疑う病名があれば HIV 検査も保険適用されます。

「間質性肺炎などの後天性免疫不全症候群の疾病と鑑別が難しい疾病が認められる場合や、HIV の感染に関連しやすい性感染症が認められる場合、既往がある場合、または疑われる場合で HIV 感染症を疑う場合は本検査を算定できる。」(保医発 0305 第 1 号平成 24 年 3 月 5 日)

2. 検査の同意について

Q 本人に伝えずに検査をしてもいいですか？

A 必ず本人の同意が必要です。

- ・本人の判断能力から、同意取得が困難な場合は家族や保護者など代理人の同意が必要です。
- ・同意書等の書面は必ずしも必要ではありませんが、口頭での同意の場合はカルテへ記載します。
- ・同意取得の声掛け例

「B 型肝炎、性感染症、念のため HIV も検査しておきますね」

「今は昔と違っていいお薬が出ていますので、早く分かることが大切です」

3. 検査結果の説明

Q 結果はどのように伝えたらいいですか？

A 陽性・陰性に関わらず、結果は本人にのみ対面で伝えます。

また本人の承諾をえずに第三者に伝えてはいけません。

なお、守秘義務については次のような法律が定められています

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

第73条

「医師が、感染症の患者（疑似症患者及び無症状病原体保有者並びに新感染症の所見がある者を含む。次条において同じ。）であるかどうかに関する健康診断又は当該感染症の治療に際して知り得た人の秘密を正当な理由がなく漏らしたときは、一年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。」

第74条

「感染症の患者であるとの人の秘密を業務上知り得た者が、正当な理由がなくその秘密を漏らしたときは、六ヶ月以下の懲役又は五十万円以下の罰金に処する。」

Q HIVが陽性だったときはどのように説明したらいいですか？

A 「HIVは治療可能ですぐに死ぬ病気ではありません。」

「昔と違って治療薬があります」

この2点をまずは説明し、あとはHIV専門病院を速やかに受診するよう促してしてください。

- ・HIV・エイズの専門治療を行っているHIV拠点病院は、「HIV拠点病院診療案内」ホームページから検索できます。



福岡県内の拠点病院

施設名	診療科	住所	問い合わせ先
国立病院機構九州医療センター	免疫感染症内科	福岡市中央区地行浜 1-8-1	092-852-0700 (内線 2501)
九州大学病院	総合診療科	福岡市東区馬出 3-1-1	092-642-5300
福岡大学病院	腫瘍・血液・感染症内科	福岡市城南区七隈 7-45-1	092-801-1011 (内線 2819)
飯塚病院	総合診療科	飯塚市芳雄町 3-83	0948-29-8050
久留米大学病院	呼吸器・神経・膠原病内科	久留米市旭町 67	0942-31-7611
聖マリア病院	血液内科	久留米市津福本町 422	0942-35-3322 (内線 6030)
産業医科大学病院	膠原病リウマチ科・内分泌代謝糖尿病内科	北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1	093-603-1611 (内線 5676)



HIV 感染症診断のためのフローチャート

HIV スクリーニング検査

- ・ HIV 抗原抗体同時検査 (HIV-1/2、HIV-1 抗原)
あるいは、HIV 抗体検査 (HIV-1/2)

陽性

判定保留

HIV 陽性に加え、
偽陽性も含まれる

陰性

非感染 (感染していない)

※ただし、リスク行為から、3ヶ月経っていない場合、あるいは明らかな感染リスクがある場合は、再検査が必要。

HIV-1 確認検査

- ・ HIV ウェスタンブロット法
- ・ 核酸増幅検査法 (HIV-1 RNA 定量)

陽性

陽性診断の確定

陰性

非感染 (感染していない)

※ HIV-2 の感染リスクがある場合は、引き続き HIV-2 の確認検査を実施
※必要であれば、国立感染症研究所などの専門機関に相談 / 検査を依頼する

※詳細は「診療における HIV-1/2 感染症のガイドライン 2008」
(日本エイズ学会・日本臨床検査医学会 標準推奨法) を参照のこと
※参考文献 「病院における HIV 検査実施ガイドライン」



終わりに

- 全世界で年間 180 万人が新たに HIV に感染し、2016 年には感染者数が 3,600 万人以上と報告されました。近年、我が国における新規感染者は横ばいとなっているものの、年間 1,000 人以上が新規に罹患している状況です。適切な抗 HIV 治療が感染予防にもつながるため、感染の早期発見が今後ますます重要となります。HIV 早期発見のために、ぜひこちらの「一般診療において HIV 感染症を疑うコツ」をご活用ください。



■発行：平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策研究事業
「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」班

■連絡先：国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
〒810-8563 福岡市中央区地行浜 1-8-1
TEL：092-852-0700（内線：2501）
FAX：092-847-8801

※無断転載禁止

※掲載写真はプライバシー配慮のため一部加工しています

※参考文献 ・ファクトシート 2017 JULY UNAIDS

・「病院における HIV 検査実施ガイドライン」

（厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業

「HIV 検査相談の充実と利用機会促進に関する研究」班）